

表1 難燃プラスチック製造工場の調査結果概要

		臭素化ダイオキシン類					モ/臭素ホリ塩素化ダイオキシン類		
		実測濃度			毒性等量相当値(参考値)		実測濃度		
		検出頻度 (検出数/調査数)	平均値	濃度範囲	平均値	濃度範囲	検出頻度 (検出数/調査数)	平均値	濃度範囲
排出ガス等	総合排出口	5/5	980 ng/m ³ N	0.011 ~ 4900 ng/m ³ N	0.0036 ng-TEQ/m ³ N	0 ~ 0.018 ng-TEQ/m ³ N	1/5	0.0066 ng/m ³ N	ND ~ 0.033 ng/m ³ N
	押出機出口	6/6	23000 ng/m ³ N	0.81 ~ 140000 ng/m ³ N	0.0025 ng-TEQ/m ³ N	0 ~ 0.0059 ng-TEQ/m ³ N	3/6	0.025 ng/m ³ N	ND ~ 0.092 ng/m ³ N
排水水等	総合排水出口等	6/6	32000 pg/L	2.0 ~ 190000 pg/L	1.5 pg-TEQ/L	0 ~ 8.5 pg-TEQ/L	2/6	0.86 pg/L	ND ~ 4.4 pg/L
	その他工程等	13/13	68000 pg/L	7.6 ~ 820000 pg/L	7.3 pg-TEQ/L	0.067 ~ 74 pg-TEQ/L	7/13	12 pg/L	ND ~ 54 pg/L

表中のNDは検出下限値未満であることを示す。

臭素化ダイオキシン類の毒性等量相当値はWHO-TEF(1998)によるPCDDs/PCDFsのTEFに準じて算出した参考値である。

毒性等量相当値はND=0で算出。

排水水等の「総合排水出口等」は、処理施設により処理された後に公共用水域に排出されるものを含む。

排水水等の「その他工程等」とは、冷却槽等の工程等における測定結果である。

表2 家電リサイクル工場の調査結果概要

		臭素化ダイオキシン類					モ/臭素ホリ塩素化ダイオキシン類		
		実測濃度			毒性等量相当値(参考値)		実測濃度		
		検出頻度 (検出数/調査数)	平均値	濃度範囲	平均値	濃度範囲	検出頻度 (検出数/調査数)	平均値	濃度範囲
排出ガス等		4/7	2.4 ng/m ³ N	ND ~ 12 ng/m ³ N	0.017 ng-TEQ/m ³ N	0 ~ 0.11 ng-TEQ/m ³ N	0/7	ND ng/m ³ N	ND ng/m ³ N
排水水等	雑排水	6/6	5600 pg/L	790 ~ 14000 pg/L	31 pg-TEQ/L	2.5 ~ 65 pg-TEQ/L	2/6	5.0 pg/L	ND ~ 21 pg/L
	工程水	1/1	140000 pg/L	140000 pg/L	420 pg-TEQ/L	420 pg-TEQ/L	1/1	520 pg/L	520 pg/L
建屋内濃度		10/10	13000 pg/m ³	930 ~ 75000 pg/m ³	37 pg-TEQ/m ³	3.2 ~ 180 pg-TEQ/m ³	9/10	4.7 pg/m ³	ND ~ 30 pg/m ³

表中のNDは検出下限値未満であることを示す。

臭素化ダイオキシン類の毒性等量相当値はWHO-TEF(1998)によるPCDDs/PCDFsのTEFに準じて算出した参考値である。

毒性等量相当値はND=0で算出

排出ガス等には、処理施設により処理された後に環境中に排出されるものを含む。

排水水等の「雑排水」は工程水以外の工場内排水で、処理施設により処理された後に公共用水域に排出されるもの及び常時排水されていないものを含む。

排水水等の「工程水」は、工場内の工程より発生する水であり、焼却処分され、排水されない。

表3 難燃プラスチック製造工場の周辺環境調査結果概要

	臭素化ダイオキシン類					E/臭素ホリ塩素化ダイオキシン類		
	実測濃度			毒性等量相当値(参考値)		実測濃度		
	検出頻度 (検出数/調査数)	平均値	濃度範囲	平均値	濃度範囲	検出頻度 (検出数/調査数)	平均値	濃度範囲
環境大気	8/8	140 pg/m ³	0.88 ~ 990 pg/m ³	0.11 pg-TEQ/m ³	0.0028 ~ 0.65 pg-TEQ/m ³	5/8	1.3 pg/m ³	ND ~ 8.9 pg/m ³
降下ばいじん	7/7	34000 pg/(m ² ·day)	1100 ~ 120000 pg/(m ² ·day)	150 pg-TEQ/(m ² ·day)	2.8 ~ 660 pg-TEQ/(m ² ·day)	7/7	130 pg/(m ² ·day)	9.4 ~ 590 pg/(m ² ·day)
公共用水域水質	7/11	5.5 pg/L	ND ~ 31 pg/L	0.012 pg-TEQ/L	0 ~ 0.037 pg-TEQ/L	0/11	ND pg/L	ND pg/L
底質	9/11	340 pg/g-dry	ND ~ 1400 pg/g-dry	1.6 pg-TEQ/g-dry	0 ~ 8.0 pg-TEQ/g-dry	9/11	120 pg/g-dry	ND ~ 670 pg/g-dry

表中のNDは検出下限値未満であることを示す。

臭素化ダイオキシン類の毒性等量相当値はWHO-TEF(1998)によるPCDDs/PCDFsのTEFに準じて算出した参考値である。

毒性等量相当値はND=0で算出。

表4 家電リサイクル工場の周辺環境調査結果概要

	臭素化ダイオキシン類					E/臭素ホリ塩素化ダイオキシン類		
	実測濃度			毒性等量相当値(参考値)		実測濃度		
	検出頻度 (検出数/調査数)	平均値	濃度範囲	平均値	濃度範囲	検出頻度 (検出数/調査数)	平均値	濃度範囲
環境大気	7/7	10 pg/m ³	3.6 ~ 26 pg/m ³	0.058 pg-TEQ/m ³	0.011 ~ 0.15 pg-TEQ/m ³	4/7	0.84 pg/m ³	ND ~ 3.7 pg/m ³
降下ばいじん	7/7	47000 pg/(m ² ·day)	2000 ~ 180000 pg/(m ² ·day)	250 pg-TEQ/(m ² ·day)	3.5 ~ 960 pg-TEQ/(m ² ·day)	7/7	4800 pg/(m ² ·day)	17 ~ 33000 pg/(m ² ·day)
公共用水域水質	3/5	23 pg/L	ND ~ 87 pg/L	0.056 pg-TEQ/L	0 ~ 0.17 pg-TEQ/L	3/5	0.31 pg/L	ND ~ 0.94 pg/L
底質	3/5	120 pg/g-dry	ND ~ 410 pg/g-dry	0.79 pg-TEQ/g-dry	0 ~ 3.0 pg-TEQ/g-dry	3/5	31 pg/g-dry	ND ~ 98 pg/g-dry

表中のNDは検出下限値未満であることを示す。

臭素化ダイオキシン類の毒性等量相当値はWHO-TEF(1998)によるPCDDs/PCDFsのTEFに準じて算出した参考値である。

毒性等量相当値はND=0で算出。